

平成30年度

大阪市こころの健康センター  
所 報

大阪市こころの健康センター

はじめに

平成 30 年度の大阪市こころの健康センター所報を刊行に際しまして、ご挨拶申し上げます。

本年度は、「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」に基づき「措置入院者等退院後支援事業」を新たに開始しました。これは、入院中の精神障がい者が社会復帰の促進と自立、社会経済活動への参加促進などに必要な医療等の包括的支援を継続的かつ確実に受けることにより、地域でその人らしい生活を安心して送ることができるよう支援を行うもので、本年度は 22 件の支援計画を作成し、本人、家族その他の支援者に対して訪問等による相談支援を行うとともに、計画に基づく支援全体が適切に行われるよう調整を行いました。

また、平成 29 年 6 月に制定された「依存症対策総合支援事業実施要綱」に基づき、アルコール・薬物・ギャンブル等の 3 依存に関する相談支援、治療、研修、普及啓発等を総合的に取り組むため、大阪府や当事者団体等と連携するとともに、当センターを依存症相談拠点として依存症専門相談体制の拡充を図りました。併せて本市依存症専門医療機関、同治療拠点機関として 3 医療機関を選定しております。

本市では、大阪府と協力して統合型リゾート（IR）の誘致をめざしており、懸念事項である依存症対策について引き続き取り組んでまいります。

当センターとしましては、これまで以上に関係機関、団体等との連携、協力を深め、こころの健康に関する諸課題に取り組んでまいりますので、ご支援、ご指導の程よろしくご願い申し上げます。

令和元年 10 月

大阪市こころの健康センター  
所長 吉野 祥一

# 目 次

## 第1 概 要

1	施設の概要	2
(1)	開設	2
(2)	所在地	2
(3)	延べ床面積	2
(4)	平面図	2
2	組織・職員	3
(1)	組織	3
(2)	職員	3
3	予算・決算	4
(1)	歳入	4
(2)	歳出	5

## 第2 事業実績

1	精神保健福祉センター業務	7
(1)	技術指導及び技術援助	7
(2)	教育研修	7
ア	精神保健福祉関係職員研修	7
(ア)	新任研修	7
(イ)	新任精神保健福祉関係職員フォロー研修	8
(ウ)	現任研修（全体研修）	9
(エ)	現任研修（業務の課題を解決するための研修）	9
(オ)	現任研修（事例検討を中心とした研修）	10
(カ)	新任期保健師精神保健福祉研修	11
(キ)	思春期関連問題支援者向け研修	11
(ク)	ゲートキーパー専門研修	11
(ケ)	ゲートキーパー専門研修（危機介入編）	12
(コ)	自殺未遂者相談支援事業従事者研修	12

(サ) ひきこもり相談窓口事業研修会	12
イ 精神保健福祉関係 人材養成研修	13
(ア) 現任研修〈全体研修〉と合同で実施	13
(3) 普及啓発	13
ア こころの健康講座	13
イ こころのボランティア講座	14
ウ ひきこもり市民講座	14
エ 思春期関連問題市民講座	14
(4) 調査研究	14
(5) 技術支援	15
ア 関係機関への一般相談	15
イ でかけるチーム精神保健相談	16
ウ 個別支援	17
(6) 精神保健福祉相談	18
ア 思春期関連問題相談	18
イ 薬物関連問題相談	19
ウ こころの悩み電話相談	20
(7) 自殺防止対策事業	21
ア 自死遺族相談	21
イ 自殺未遂者相談支援事業	21
ウ ゲートキーパーの養成	22
エ 自殺予防啓発活動の取り組み	22
オ こころの健康相談統一ダイヤル	23
カ うつ病予防の普及啓発	24
キ うつ病の家族教室	24
ク 大阪市自殺対策検討連絡会議	24
(8) ひきこもり相談窓口事業	25
ア ひきこもり電話相談件数	25
イ ひきこもり面接相談件数	26
ウ ひきこもりアウトリーチ件数	26
(9) 薬物依存症者等ケア強化事業	27
ア 家族心理教育事業	27

イ	地域における断薬継続促進モデル事業	27
(10)	依存症対策支援事業	28
ア	相談支援事業	28
イ	依存症支援者育成事業	30
ウ	普及啓発・情報提供事業	31
エ	依存症家族支援事業	32
オ	依存症関連機関連携会議	32
カ	依存症治療拠点及び専門医療機関の選定	32
キ	薬物乱用防止対策事業	33
(11)	措置入院者等退院後支援事業	34
(12)	組織の育成	34
(13)	精神医療審査会	35
ア	開催状況	35
イ	入院届・定期病状報告の審査状況	35
ウ	退院・処遇改善請求の審査状況	36
エ	実施審査状況	36
(14)	大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営	36
2	精神保健福祉主管課業務	37
(1)	精神保健福祉審議会の運営	37
ア	自殺防止対策部会	37
(2)	措置・緊急措置診察（入院）業務	38
ア	措置診察	38
イ	緊急措置診察	38
(3)	医療保護入院等の移送事業	38
(4)	精神障がい者保健福祉手帳の交付	39
(5)	障がい者の乗車料金福祉措置	39
(6)	自立支援医療費（精神通院）の支給認定	39
(7)	精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	39
ア	地域移行支援の実施状況	39
イ	地域生活移行推進事業	40
ウ	ピアサポーターによる啓発活動	40
エ	ピアサポーター交流会	41
オ	ピアサポーター養成講座	41

カ	技術支援・コーディネート	42
キ	相談支援事業への研修	42
(8)	心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業	43
(9)	精神科救急医療体制整備事業	44
ア	おおさか精神科救急ダイヤルの設置	44
イ	精神科救急医療情報センターの設置	45
ウ	一次救急医療体制の整備	45
エ	二次救急医療体制の整備	45
オ	身体合併症治療体制の確保	45
カ	夜間・休日精神科合併症支援システム	47
(10)	精神保健福祉に関する予算・決算業務	49

### 第3 資料

1	大阪市精神保健福祉審議会 開催内容	51
2	精神医療審査会	56
(1)	運営状況	56
(2)	実地審査状況	58
3	措置（緊急措置）診察・入院状況	59
4	精神障がい者保健福祉手帳交付状況	60
5	精神障がい者保健福祉手帳所持者数	61
6	自立支援医療費（精神通院）受給者数状況	61
7	自立支援医療費（精神通院）受給者数	61
8	保健福祉センターにおける相談指導の状況	62
9	保健福祉センターにおける一般クリニックの状況	63
10	保健福祉センターにおける日常生活向上教室・生活技能訓練教室の状況	64
11	保健福祉センターにおける酒害教室の状況	65

# 第 1 概 要

1 施設の概要

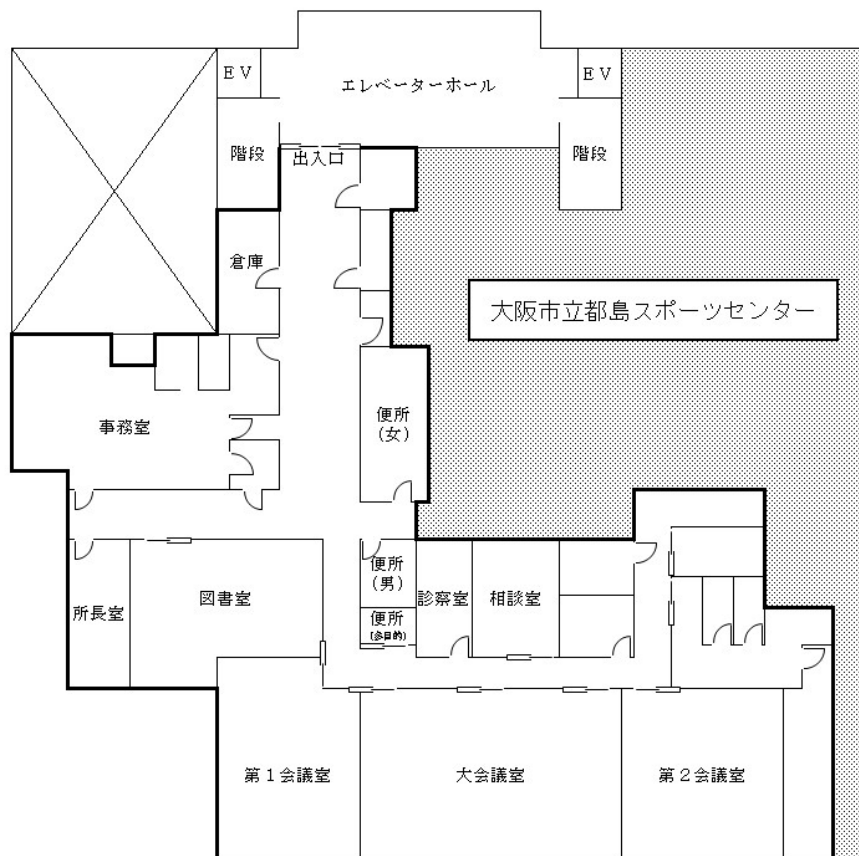
(1) 開設 平成12年4月1日

(2) 所在地 大阪市都島区中野町5丁目15番21号 都島センタービル3F



(3) 延べ床面積 992.75㎡

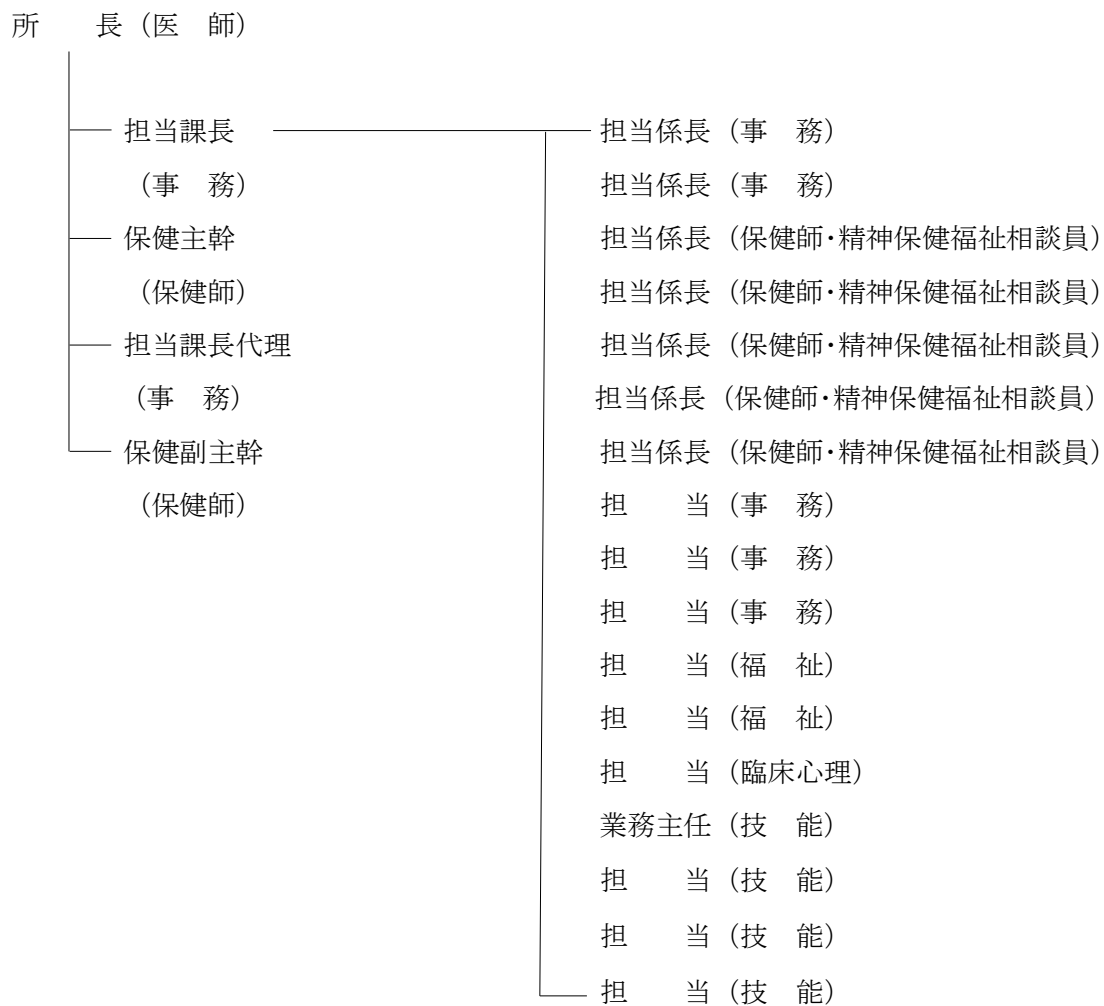
(4) 平面図





2 組織・職員（平成30年5月1日現在）

(1) 組織



(2) 職員

	事務	福祉	臨床 心理	医師	保健師	技能	計	精神保健福祉相談員 (再 掲)
								保 健 師
人 数	7	2	1	1	7	4	22	5

※医師2名欠員

## 3 予算・決算

## (1) 歳入

(単位：千円)

事 項	平成31年度 予算	平成30年度 決算
使用料	672	622
でかけるチーム精神保健相談事業	32	0
精神科救急医療体制の整備事業	640	622
手数料	15	6
こころの健康センター管理運営費（診断書料）	15	6
国庫負担金	5,912,035	5,654,789
精神障がい者通院医療費	5,792,920	5,531,401
措置・緊急措置診察及び入院事業	4,217	4,343
措置入院費公費負担事業	114,898	119,045
国庫補助金	65,166	69,278
こころの健康センター管理運営費	780	754
精神保健福祉普及啓発事業	26	32
思春期関連問題相談事業	215	215
でかけるチーム精神保健相談事業	8	8
ひきこもり相談窓口事業	1,394	1,384
自殺防止対策事業	201	371
薬物依存症者等ケア強化事業	-	37
依存症対策支援事業	3,445	2,683
精神科救急医療体制の整備事業	41,040	44,429
措置・緊急措置診察及び入院事業	13,274	13,199
措置入院者等退院後支援事業	1,721	2,998
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	3,062	3,167
府補助金	1,890	1,890
自殺防止対策事業	1,890	1,890
雑入	16	346
自立支援医療費（精神通院）返還金	-	262
障がいの乗車料金福祉措置（広告料収入）	16	0
印刷契約解約にかかる違約金	-	18
公文書公開にかかる諸費用	-	63
紙類売払等	-	3
計	5,979,794	5,726,931

## (2) 歳 出

(単位：千円)

事 項	平成31年度 予算	平成30年度 決算
健康総務費	114,947	81,465
総合福祉システム（福祉五法システム）機種更新経費	67,586	40,785
総合福祉システム（福祉五法システム）運用経費	43,531	36,289
総合福祉システム（福祉五法システム）改修等経費	731	3,356
マイナンバー制度にかかる総合福祉システム改修経費	3,088	1,025
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	11	10
保健医療費	13,049,462	12,336,194
精神障がい者通院医療費	11,686,916	11,160,198
こころの健康センター管理運営費	79,961	25,364
精神保健福祉従事職員研修	832	796
精神保健福祉審議会費	207	139
精神保健福祉普及啓発事業	624	448
思春期関連問題相談事業	645	600
薬物乱用防止対策事業	-	607
でかけるチーム精神保健相談事業	24	-
ひきこもり相談窓口事業	2,790	2,791
精神保健福祉・社会復帰相談指導事業	19,744	21,192
自殺防止対策事業	4,177	4,056
薬物依存症者等ケア強化事業	-	136
依存症対策支援事業	6,890	4,703
市長入院同意患者面接事業	309	234
精神科救急医療体制の整備事業	100,868	98,478
措置・緊急措置診察及び入院事業	64,655	63,122
措置入院費公費負担事業	153,241	158,780
措置入院者等退院後支援事業	3,441	5,374
精神医療適正化事業	5,193	4,629
心神喪失者等医療観察法に基づく社会復帰支援事業	107	68
精神障がい者保健福祉手帳交付事業	2,942	2,205
障がいの乗車料金福祉措置	909,066	778,266
精神障がい者地域生活支援広域調整等事業	6,123	3,625
障がい者支援計画及び障がい福祉計画の策定	4,063	305
マイナンバー制度にかかる中間サーバー接続端末設置経費	85	78
計	13,164,409	12,417,659

## 第2 事業実績

大阪市こころの健康センターでは、精神保健福祉センターの機能に加えて、精神保健および精神障がい者福祉に対する行政機能を総合的、一体的に有している。すなわち精神保健福祉法第6条及び精神保健福祉センター運営要領で定める業務の他に、措置入院の診察・移送などの業務や、精神保健福祉審議会の運営などいわゆる精神保健福祉主管課業務についても実施している。

## 1 精神保健福祉センター業務

### (1) 技術指導及び技術援助

大阪市内には、各区に1か所、合計24か所の保健福祉センターがあり、これらは市民や精神障がい者のさまざまな相談に対応するなど地域精神保健福祉行政の第一線機関である。また精神障がい者の地域生活を支援している各機関も精神保健福祉サービスと関わる重要な機関である。当センターは、これら保健福祉センターや関係機関に対し、専門的立場からさまざまな形で積極的な技術支援および技術援助を行っている。

### (2) 教育研修

#### ア 精神保健福祉関係職員研修

各区の保健福祉センター及び大阪市こころの健康センターの精神保健福祉相談員や事務担当職員を対象に精神障がい者の理解を深め、最新の専門的な情報や技術を習得することを目的とした研修を実施し、職員の資質の向上を図るとともに地域精神保健福祉の活動及び向上に繋げる。

#### (ア) 新任研修

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
30. 4. 26	精神保健福祉法と大阪市の精神保健福祉行政について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長 内 田 弘 之	21人
	こころの健康センターにおける精神保健福祉業務の実際について	こころの健康センター 担当係長 西 本 清 美	
	思春期・ひきこもり・自死遺族相談について	こころの健康センター 臨床心理職員 三 谷 大 樹	
	保護申請 (22条)・警察官通報 (23条)・移送制度 (34条) について	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	
	市長同意事務手続き・救急医療システムについて	こころの健康センター 寺 尾 英 二	
	自立支援医療・精神障がい者福祉手帳について	こころの健康センター 担当係長 山 岡 卓	
	自殺対策について	こころの健康センター 精神保健医療担当課長代理 片 桐 幹 雄	
	精神医療適正化事業について	こころの健康センター 村 田 義 之	

30.5.1	月報について	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	3人
	心神喪失者医療観察法について 精神障がい者地域移行支援について 地域生活移行推進事業について	こころの健康センター 保健副主幹 井 阪 純 子	
	自殺未遂者相談支援事業について	こころの健康センター 担当係長 西 本 清 美	
30.5.7	退院後支援について	こころの健康センター 担当係長 大 畑 有 紀	3人
	依存症対策について	こころの健康センター 担当係長 伯 井 理 加	
	地域精神保健福祉活動について 危機介入について	こころの健康センター 保健主幹 石 神 朋 子	
30.5.11	統合失調症・うつ病を中心に精神障がいと疾患について 通報における自傷他害性について	こころの健康センター 所長 吉 野 祥 一	16名
	保健福祉センターにおける業務について	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	
	精神保健福祉相談等の事務手続きについて	こころの健康センター 藤 本 英 周	

(イ) 新任精神保健福祉関係職員フォロー研修

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
30.12.12	ケアマネジメント実践におけるアセスメントの意義と方法	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	2人
	依存症関連問題のアセスメントと介入方法について	こころの健康センター 依存症相談員 根 来 千 穂	
	事例検討	こころの健康センター 保健主幹 石 神 朋 子	
	各区精神保健福祉関連業務の現状と課題及び今後の方策	こころの健康センター 担当係長 正 木 里 佳	
	精神保健福祉業務における危機介入について	こころの健康センター 保健主幹 石 神 朋 子	

(ウ) 現任研修 (全体研修)

精神保健福祉の最近の動向について講義研修を実施した(精神保健福祉関係人材養成研修と合同で実施)。

年月日	講義内容	講師	参加者数
30.8.31	薬物依存症の実際と対応	京都府立大学 准教授 山野尚子 大阪ダルク ディレクター 倉田めば	54人
30.9.21	家族支援の視点	京都ノートルダム女子大学 准教授 佐藤純	35人
30.12.19	自傷行為の理解と援助	大阪市立総合医療センター 児童青年精神科部長 飯田信也	47人
31.1.21	退院後の地域支援	佛教大学 教授 篠原由利子	43人

(エ) 現任研修 (業務の課題を解決するための研修) [対象 精神保健福祉相談員]

A 北・西グループ

年月日	講義内容	講師
30.8.10	ひきこもりの理解とかかわり方について学ぶ	メンタルワークス大阪 代表 岡崎剛
30.9.14	家族支援としての CRAFT の手法と実践について	メンタルワークス大阪 代表 岡崎剛
30.12.14	研修のまとめ	

B 東・中央グループ

年月日	講義内容	講師
30.9.13	アルコール依存症者の面接技法と事例対応について振り返る	新生会病院 精神保健福祉士 小仲宏典
30.10.29	アルコール依存症者の家族への支援について	新生会病院 精神保健福祉士 小仲宏典
31.1.28	アルコール依存症者に対して面接技法を活用した断酒支援のまとめ	

C 南グループ

年月日	講義内容	講師
30.10.22	薬物依存症者の患者・家族支援について	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤井望夢
30.11.14	薬物依存症者の支援—プログラムの実際について—	大阪精神医療センター 看護師 加藤武司
31.1.9	薬物依存症者の支援についての学びのまとめ	

(オ) 現任研修（事例検討を中心とした研修）〔対象 精神保健福祉相談員、保健師〕

A 北・西グループ

年月日	講義内容	講師
30.7.13	パーソナリティ障がいについて、事例を通して学ぶ	京都少年鑑別所 医師 定本 ゆきこ
30.10.12	摂食障がいについて具体的な介入、治療の実際を事例を通して学ぶ	なにわ生野病院 臨床心理士 武久 千夏
30.11.30	気分障がいの理解について事例を通して学ぶ	さわらび診療所 院長 稲垣 亮祐
31.2.1	統合失調症の治療と支援について事例を通して学ぶ	小阪病院 医務部長 木村 慶男
31.3.8	事例検討及び検討事例の経過報告と振り返り	

B 中央・東グループ

年月日	講義内容	講師
30.7.9	統合失調症の理解とその事例への対応について	美原病院 医師 以倉 康充
30.11.28	思春期のひきこもりの理解とその事例への対応について	くさかメンタルクリニック 院長 日下 博登
30.12.7	気分障がい（併存疾患症例含む）の病態、治療・支援の在り方	ひかりクリニック 院長 有本 進
31.2.27	高齢者の精神疾患の理解とその事例への対応について	ほくとクリニック病院 院長 深尾 晃三
31.3.11	事例検討、事例の振り返り	

C 南グループ

年月日	講義内容	講師
30.7.19	統合失調症の理解と薬物療法について	かつもとメンタルクリニック 院長 勝元 榮一
30.8.8	気分障がいの理解と治療について	兵庫医科大学 精神神経科講師 山田 恒
30.9.27	パーソナリティ障がい・摂食障がいの治療の実際と介入のポイントについて	なんば・ながたメンタルクリニック 院長 永田 利彦
31.2.13	アルコール依存症の理解と治療プログラムについて	ひがし布施クリニック 院長 辻本 士郎
31.3.13	検討事例の経過報告と振り返り	



(カ) 新任期保健師精神保健福祉研修

保健福祉センターの新任期の保健師を対象に、実践経験を基にさらに精神障がい者の理解を深め、より専門的・具体的な生活支援や個別援助に必要な知識や技術を学ぶことを目的とした研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
30.11.21	オリエンテーション	こころの健康センター 担当係長 青木直美	21人
	講義「統合失調症・感情障がいの疾患理解と支援について」	こころの健康センター 医師 松浦玲子	
	精神障がい者の理解と支援～当事者の話から社会復帰への支援を学ぶ～	こころの健康センター 保健副主幹 井阪純子 ピアサポーター	
	講義「アセスメントの意義と方法・社会資源の利用、地域生活支援について」	こころの健康センター 担当係長 青木直美	
	事例検討（グループワーク） 発表・まとめ	こころの健康センター 保健主幹 石神朋子 こころの健康センター 担当係長 西本清美 こころの健康センター 担当係長 青木直美	

(キ) 思春期関連問題支援者向け研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師、市立学校教職員を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。なお、本年度は精神保健福祉関係職員研修の現任研修と同時に開催した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
30.12.19	自傷行為の理解と援助	大阪市立総合医療センター 児童青年精神科部長 飯田信也	28人

(ク) ゲートキーパー専門研修

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として教職員（管理職）を対象に専門研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
30.6.22	「学校における自殺防止対策 について」	兵庫県こころのケアセンター 医師 亀岡智美	321人
	「大阪市自殺防止基本指針（第2次） について」	こころの健康センター 担当係長 西本清美	

(ケ) ゲートキーパー専門研修（危機介入編）

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、精神保健福祉相談員・保健師、査察指導員・生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター職員を対象に危機介入の研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
30.10.23	自殺危機初期介入スキル研修	こころの健康センター 担当係長 西本清美 こころの健康センター 担当係長 大畑有紀	19人
30.11.8	自殺危機初期介入スキル研修	こころの健康センター 副主幹 井阪純子 こころの健康センター 担当係長 正木里佳	23人
31.2.18	自殺に傾いた人への支援 ～傾聴と危機介入について～	関西科学福祉大学 社会福祉学部 都村尚子	26人

(コ) 自殺未遂者相談支援事業従事者研修

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
31.2.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺未遂者相談支援事業について</li> <li>・平成29年の事業報告事例検討</li> <li>・事例検討</li> <li>・効果的な自殺未遂者対策</li> </ul>	こころの健康センター 担当係長 西本清美 こころの健康センター 担当係長 青木直美	19人

(サ) ひきこもり相談窓口事業研修会

保健福祉センターの精神保健福祉相談員・保健師を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施した。

年月日	講義内容	講師	参加者数
30.12.11	ひきこもりの理解と支援 ひきこもり相談窓口事業について 他	みこころクリニック 院長 水野龍男 こころの健康センター 臨床心理職員 三谷大樹	19人
31.2.4	ひきこもりのアウトリーチ支援	和歌山大学名誉教授 紀ノ川病院 副院長 宮西照夫	16人

イ 精神保健福祉関係 人材養成研修

(ア) 現任研修〈全体研修〉と合同で実施

訪問看護・居宅支援事業者、精神保健福祉施設等で精神保健福祉業務に従事する職員の資質および技術の向上を目的に専門的な研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
30.9.21	家族支援の視点	京都ノートルダム女子大学 准教授 佐藤 純	28人
30.12.19	自傷行為の理解と援助	大阪市立総合医療センター 児童青年精神科部長 飯田 信也	27人

(3) 普及啓発

市民に対する精神保健福祉に関する知識や精神障がいについての正しい知識などの普及啓発を行った。

ア こころの健康講座

市民のこころの健康づくりを推進するために、こころの健康をテーマに講演会を実施した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
30.8.28	ストレスと向き合う ～気軽にできるストレス解消法～	フェミニストカウンセリング 相談員 横山 道子	23人
30.9.19	身近なうつ病について知ろう ～大切な人を失わないために～	稲田クリニック 院長 稲田 泰之	32人
30.10.18	もっと知りたい、睡眠のこと	京谷クリニック 院長 京谷 京子	62人
30.12.6	統合失調症について知ろう ～医師の話と当事者の体験談～	大阪市こころの健康センター 医師 松浦 玲子 地域活動支援センターもくれん 精神保健福祉士 豊田 康嗣 統合失調症当事者 2名(匿名)	57人
31.1.22	災害後のこころのケア	兵庫県立こころのケアセンター 主任研究員 田中英三郎	23人

#### イ こころのボランティア講座

精神障がい者の地域生活を支援する精神保健福祉ボランティアをはじめ、精神保健分野で活動する支援者を対象に、育成支援・精神保健福祉についての普及啓発を目的に講座を開催した。なお、今年度についても「こころの健康講座」と共催した。

#### ウ ひきこもり市民講座

市民や学校関係者等のひきこもりへの理解を深めることを目的として、2回の市民講座を開催した。

年 月 日	講 座 内 容	講 師	参加者数
31. 2. 20	ひきこもり ～精神科医の視点から～	大久保クリニック 院長 大久保圭策	65人
31. 2. 27	ひきこもる人に必要な支援とは	NPO法人 フォロ 事務局長 山下耕平	71人

#### エ 思春期関連問題市民講座

思春期の子どもを持つ親、市民、教職員などを対象に、思春期のこころの健康についての普及啓発を目的に講座を開催した。

年 月 日	講座内容	講 師	参加者数
31. 3. 11	思春期のこころの発達 ～子どもとのかかわりのヒント～	大阪市立総合医療センター 児童青年精神科部長 飯田信也	29人
31. 3. 26	急増する子どものインターネット依存	大阪市立大学大学院医学研究科 講師 片上素久	29人

#### (4) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進並びに精神障がい者の社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加の促進等についての調査研究をするとともに、必要な統計及び資料を収集整備した。

(5) 技術支援

ア 関係機関への一般相談

平成30年度技術支援状況

各区の保健福祉センターや関係機関における対応困難事例について、精神科医師や精神保健福祉相談員・臨床心理職員などが相談、支援を行っている。

技術支援

1. 相談件数 (件)

4月	94
5月	223
6月	179
7月	197
8月	147
9月	183
10月	172
11月	184
12月	163
1月	193
2月	125
3月	169
合計	2,029

2. 新規・再相談の別(件)

新規相談	1,987
今年度新規相談	10
今年度再相談	32
合計	2,029

3. 対象者の性別 (人)

男性	1,110
女性	898
不明	21
合計	2,029

4. 年齢別 (人)

10歳未満	0
10歳～12歳	4
13歳～15歳	4
16歳～18歳	13
19歳～20歳	33
21歳～29歳	126
30歳～39歳	439
40歳～49歳	514
50歳～59歳	421
60歳～69歳	188
70歳～79歳	158
80歳以上	71
不明	58
合計	2,029

5. 相談手段 (件)

電話相談	316
こころに來所相談	1,712
保健福祉センター面接	0
訪問相談	1
合計	2,029

6. 相談業務従事者 (人)

医師	0
相談員	2,029
心理職員	0
事務職員	0
その他	0
医師・心理職	0
医師・心理職・PSW	0
医師・PSW	0
心理職・PSW	0
医師・相談員	0
医師・相談員・事務職員	0
合計	2,029

7. 相談内容 (件)

治療に関して	12
医療機関紹介	7
情報に関して	16
でかける相談	1
医療・手帳関係	2
通報関係	1,907
制度の問題	10
近隣トラブル	8
本人への対応	32
その他	34
合計	2,029

8. 相談経路 (件)

保健福祉センター	1,253
支援課(生保)	1
医療機関	10
社会復帰施設	1
教育機関	0
社会福祉施設	0
老人保健施設	1
児童福祉施設	0
関係団体	1
その他	762
合計	2,029

9. 相談種別 (件)

老人保健	3
社会復帰	5
アルコール	0
病気に関する問題	1,869
心の健康づくり	11
薬物関連問題	83
思春期問題	3
うつ・うつ状態	3
DVに関して	0
ギャンブル	1
ひきこもり	0
自殺関連	5
犯罪被害	0
災害	0
発達障がい	2
摂食障害	0
てんかん	0
その他	44
合計	2,029

10. 援助の方法 (件)

所内カンファレンス	2
地域・外部とカンファレンス	0
地域支援会議等参加	0
相談員等に個別支援	15
GW・教室等支援	0
関係機関紹介	8
情報提供	22
助言	73
その他	1,909
合計	2,029

#### イ でかけるチーム精神保健相談

地域における精神保健福祉相談での複雑困難事例に対応するため、各区の保健福祉センターからの要請に基づき、こころの健康センターの専門職員によるチームを編成し、各区にでかけて事例検討、訪問及び面接等の専門的な技術援助・支援を行い、もって地域の精神保健福祉活動の向上を図っている。

平成30年度でかけるチーム精神保健相談

	電話相談	面接相談	家庭訪問	ケース会議	合 計
男 性	24	2	17	2	45
女 性	10	0	10	1	21
合 計	34	2	27	3	66

## ウ 個別支援

平成30年度個別支援状況

市民の個別相談については、原則、各区保健福祉センターで対応しているが、直接、個別にこころの健康センターに相談があった事例については、以下のように対応し、必要に応じて各区の保健福祉センターに引き継ぎている。

個別支援

4月	63
5月	86
6月	40
7月	50
8月	60
9月	63
10月	70
11月	88
12月	85
1月	100
2月	79
3月	71
合計	855

新規相談	517
今年度新規相談	13
今年度再相談	325
合計	855

男性	372
女性	474
不明	9
合計	855

10歳未満	0
10歳～12歳	0
13歳～15歳	2
16歳～18歳	2
19歳～20歳	11
21歳～29歳	53
30歳～39歳	123
40歳～49歳	163
50歳～59歳	111
60歳～69歳	47
70歳～79歳	30
80歳以上	16
不明	297
合計	855

電話相談	848
こころに来所相談	7
訪問相談	0
合計	855

医師	1
相談員	853
心理職員	0
事務職員	0
医師・相談員	0
医師・心理	0
医師・心理・相談員	0
その他	1
合計	855

治療に関して	28
医療機関紹介	33
情報に関して	28
制度の問題	11
本人への対応	16
その他	739
合計	855

保健福祉センター	102
支援課(生保)	0
医療機関	21
社会復帰施設	3
教育機関	0
社会福祉施設	4
老人保健施設	0
児童福祉施設	0
関係団体	0
その他	725
合計	855

老人保健	0
社会復帰	3
アルコール	7
病気に関する問題	384
心の健康づくり	32
薬物関連問題	1
思春期問題	3
うつ・うつ状態	4
DVに関して	1
ギャンブル	0
その他	419
摂食障害	1
てんかん	0
合計	855

助言	59
関係機関紹介	37
保健センターのフォロー	13
その他	746
合計	855

北	6
都島	5
福島	0
此花	2
中央	4
西	4
港	1
大正	2
天王寺	0
浪速	0
西淀川	4
淀川	8
東淀川	5
東成	3
生野	5
旭	1
城東	4
鶴見	2
阿倍野	1
住之江	1
住吉	3
東住吉	2
平野	7
西成	1
不明	408
市外	24
市内だが不明	352
合計	855

(6) 精神保健福祉相談

ア 思春期関連問題相談

思春期は心身の変化が著しく、対人関係の悩みやストレスによる身体の症状などの問題が生じやすく、様々な不安や葛藤等に端を発して、精神障がい（統合失調症・うつ病・摂食障がい・社交不安障がい・強迫性障がい等）を引き起こしやすいことが知られている。思春期関連問題としては、不登校、家庭内暴力、非行、摂食障がい、自傷行為、性に関する問題等があり、いずれの問題も非常に複雑であることから一筋縄の対応ではうまくいかないことが多い。また、これらの問題に加えて、近年ではインターネット依存やいじめによる自殺等も大きな問題となってきている。これらに対応するため、平成12年10月から、専門の精神科医師、臨床心理職員等による個別相談を予約制で、大阪市こころの健康センターにおいて実施している。

平成30年度 思春期関連問題相談実施状況

相談件数 (件)

	合 計
実件数	40
延件数	58

対象者の内訳 (実件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合 計
男 性	2	11	10	2	0	25
女 性	4	4	7	0	0	15
合 計	6	15	17	1	0	40

相談内容 (実件数)

(人)

年齢	～12	13～15	16～18	19～20	21～	合 計
不 登 校	2	8	4	0	0	14
ひきこもり	0	0	0	2	0	2
摂食障がい	0	0	2	0	0	2
精神疾患疑い	3	0	0	0	0	0
情緒不安定	0	0	1	0	0	4
発達障がい	0	0	4	0	0	4
そ の 他	1	7	6	0	0	14
合 計	6	15	17	2	0	40

※その他、思春期関連問題について、各区保健福祉センターへの技術援助を行っている。



イ 薬物関連問題相談

覚せい剤等薬物の乱用、とりわけ低年齢層の薬物乱用や、危険ドラッグの乱用者が犯罪や重大な交通事故を引き起こす事案が後を絶たず、社会問題となっている。一方、薬物関連問題についての専門相談機関は極めて少ない状況にある。

このような状況の中、大阪市こころの健康センターでは、平成12年10月から専門の精神科医師による薬物関連問題相談（予約制）を実施している。

【平成30年度 薬物関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	18	8	26
延件数	19	11	30

対象者の内訳 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	2	4	7	4	1	0	18
女性	1	2	3	1	0	1	8
合計	3	6	10	5	1	1	26

相談者別（重複あり） (人)

本人	17
配偶者	3
両親	12
兄弟・姉妹	3
その他（知人、支援者など）	22

薬物の種類（重複あり） (人)

覚せい剤	16
大麻	5
有機溶剤	1
危険ドラッグ	0
その他（睡眠薬、向精神薬など）	4

主な相談内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族の対応の仕方について</li> <li>・ 薬物依存症の治療について</li> <li>・ 本人への治療指導を希望</li> <li>・ 断薬継続のための生活上の注意について</li> <li>・ 地域支援に向けての処遇検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬物依存症はどんな病気か</li> <li>・ 治療につなげるにはどうしたらよいか</li> <li>・ 退院後の処遇について</li> <li>・ 家族間の調整</li> </ul>
	など



8. 援助方法 (件)

助言	1,038
他機関紹介	278
傾聴	1,717
その他	71
合計	3,104

(7) 自殺防止対策事業

全国の自殺者数は平成10年に急増し3万人を超えて以来、連続して3万人を超える状態が続いており、平成21年までは概ね年間3万人前後で推移していた。平成23年以降は一貫して減少傾向を維持しているが、依然として多い状況には変わらない。国は自殺対策基本法に基づく自殺対策の指針である「自殺総合対策大綱」を策定し、その中で地方公共団体をはじめ、医療機関、民間の団体等との密接な連携を図りつつ総合的に自殺対策を推進していくこととしている。

また、平成21年4月に発表された「経済危機対策」の具体的施策の中で、都道府県に当面3年間の対策に係る「地域自殺対策緊急強化基金」を造成（その後の補正予算で基金を積み増し、平成26年度まで延長。）し、平成26年度補正予算において同基金の対象を一部限定しつつ、新たに地域自殺対策強化交付金を設けて、地域における自殺対策力を強化してきた。

大阪市の自殺者数は、全国の傾向と同様に減少傾向を維持しているが、平成29年の自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺死亡者数。人口動態統計。）は19.8と政令指定都市の中では最も高い値になっており、これらの状況を受け自殺防止対策として次の事業を行っている。

ア 自死遺族相談

平成19年11月から「自死遺族相談」を開設し、自死遺族に対して臨床心理士・精神保健福祉相談員等による面接相談を実施している。

相談実施日 第1・第3金曜日、第2・第4木曜日（予約制）

平成30年度実施状況

実人数24人 延相談数96件

イ 自殺未遂者相談支援事業

自殺には多様かつ複雑な原因・背景があり、自殺未遂者を支えるためには心身の健康から社会的支援まで総合的・複合的な取り組みが必要なことから、平成21年11月から自殺未遂者への相談支援を開始した。

本事業は、警察署で自殺未遂者として取り扱った方の相談に応じ、精神科医療の必要な方は医療に繋ぎ、また心理的に追い込まれ、視野狭窄に陥るなど一時的に理解・判断ができなくなっている方に対して傾聴相談を行い適切な関係機関に繋ぎ、更なる自殺行為を防ぐことを目的としている。

開始時は市内4区（東淀川・港・城東・住吉）で試行実施し、平成22年7月から12区（前述に加え淀川・生野・鶴見・阿倍野・住之江・東住吉・平野・西成）に拡充し、平成23年1月から市内全域を対象に実施している。また、平成25年1月からは、大阪府全域で実施している。

平成30年度実施状況 受理延件数 532件

## ウ ゲートキーパーの養成

自殺防止のために一番大切な気づきが行える地域の中心的な役割を果たすべき人材（ゲートキーパー）の育成として、大阪府内の大学に在学する大学生等に研修を実施している。

### ゲートキーパー養成研修

年月日	内 容・講 師	対 象 者	参加者数
30.10.2	大学生のためのゲートキーパー研修 ～私達にできること～	大阪総合保育大学学生	116人
30.12.13 30.12.18		大阪市立大学学生	70人 228人
31.1.8 31.1.11 31.1.15		常盤会学園大学学生	25人 37人 9人
30.12.6		大阪経済大学学生	20人

## エ 自殺予防啓発活動の取り組み

9月10日～16日の「自殺予防週間」、3月の「自殺対策強化月間」にあわせて大阪府・堺市等とともに「自殺予防街頭キャンペーン」及び「集中電話相談」を行った。

### 1. 自殺予防街頭キャンペーン

- 1) 日 時：平成30年9月10日（月）午前8時～9時  
平成31年3月1日（金）午前8時～9時
- 2) 場 所：京橋駅前等
- 3) 内 容：自殺予防カード入りポケットティッシュ等の配布
- 4) 主 催：大阪市、堺市

### 2. 集中電話相談

- 1) 期 間：平成30年9月1日（土）～平成30年9月30日（日）（24時間受付）  
（9月1日（土）は午前9時30分から開始、9月30日（日）は午後5時で終了）  
平成31年3月1日（金）～平成31年3月31日（日）（24時間受付）  
（3月1日（金）は午前9時30分から開始、3月31日（日）は午後5時で終了）
- 2) 内 容：自殺に関する相談やこころの健康に関する相談をおこなう24時間の集中電話を設置
- 3) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

## オ こころの健康相談統一ダイヤル

平成23年4月から自殺予防集中電話相談事業として、国が実施している全国共通の電話番号を設定する「こころの健康相談統一ダイヤル」を実施している。こころの健康に関する相談に対応することで、それらが原因となる自殺予防を図るため、市民のこころの悩みに、臨床心理職員、精神保健福祉相談員などの専門職員が電話で相談に応じている。

開設時間：平日の午前10時～12時 午後1時～5時

平成30年度こころの健康相談統一ダイヤル相談状況

1. 相談者 (人)

本人自身	490
親	8
配偶者	4
子供	2
兄弟	2
友人	1
その他	3
不明	0
合計	510

2. 相談者の性別 (人)

男性	278
女性	232
不明	0
合計	510

3. 対象者の性別 (人)

男性	277
女性	233
不明	0
合計	510

4. 対象者の年齢区 (人)

10歳未満	0
10歳～14歳	1
15歳～19歳	5
20歳～29歳	30
30歳～39歳	98
40歳～49歳	125
50歳～59歳	147
60歳～69歳	30
70歳以上	24
不明	50
合計	510

8. 援助方法 (件)

助言	186
他機関紹介	21
傾聴	297
その他	6
合計	510

5. 対象者居住地 (件)

北	9
都島	8
福島	2
此花	2
中央	4
西	9
港	3
大正	9
天王寺	2
浪速	5
西淀川	3
淀川	7
東淀川	4
東成	9
生野	5
旭	3
城東	9
鶴見	5
阿倍野	10
住之江	0
住吉	7
東住吉	80
平野	14
西成	4
市内だが不明	139
府下	56
その他	2
不明	100
合計	510

6. 相談種別 (件)

老人に関する問題	4
社会復帰に関して	11
アルコール問題	1
薬物に関する問題	0
思春期の問題	4
こころの健康について	270
病気に関する問題	109
制度の問題	4
うつ・うつ状態	45
ギャンブル	0
その他	62
合計	510

7. 相談内容(重複あり) (件)

育児上の問題	0
家庭内の問題	77
学校についての問題	3
職場・仕事等の問題	66
近隣との関係	11
性の悩み相談	8
異性との関係	12
性格についての悩み	20
食欲の異常	1
症状について	198
医療機関について	16
病気の知識について知りたい	2
精神障害者への関わり方について	1
社会復帰に関して	19
社会資源に関して	5
話がしたい・話相手がほしい	192
人生相談	4
その他	22
合計	657

カ うつ病予防の普及啓発

各種パンフレット等を作成し、「こころの健康問題」に対する意識の高揚を図っている。

キ うつ病の家族教室

家族が正しい知識を学び、病気を理解し、本人への接し方を考えるためのうつ病の家族教室（1クール2回を2クール）を開催した。また、うつ病家族の自助グループの育成を目指し、継続して交流会を行っている。

○実施状況

第1クール	実人数	19人	延参加者数	30人
第2クール	実人数	13人	延参加者数	18人

○交流会（平成30年4月～平成31年3月）

開催回数 11回 実人数 11人 延参加者数 43人

ク 大阪市自殺対策検討連絡会議

平成21年3月から大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会と大阪市関係各担当が連携して自殺対策を推進し、施策等について協議・検討するため、大阪市自殺対策検討連絡会議を開催している。

○第16回（平成31年1月30日 大阪市こころの健康センター 大会議室）

- ・平成29年中における大阪市の自殺の状況
- ・各局の自殺防止対策の取り組みについて
- ・講演「自殺対策について」
- ・その他



イ 平成 30 年度ひきこもり面接相談件数（実 39 件、延 73 回）

1. 面接相談者（延人数）		2. 面接の種別（実件数）		3. 面接結果の処遇（延回数）	
ひきこもり本人	9	不登校	4	助言	50
母	44	ひきこもり(第 1 群:精神)	7	他機関紹介	11
父	7	ひきこもり(第 2 群:発達)	8	傾聴	3
配偶者	0	ひきこもり(第 3 群:PD 等)	0	面接予約	0
子ども	0	ひきこもり(その他)	14	アウトリーチ予約	0
兄弟姉妹	3	その他	6	他機関との連携	9
友人	10	計	39	その他	0
その他	0			計	73
計	73				

ウ 平成 30 年度ひきこもりアウトリーチ（訪問支援）件数（5 件）

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代以上	年齢不明	延件数	実件数
男性	0	1	1	0	0	0	2	2
女性	1	0	0	0	2	0	3	3
計	1	1	1	0	2	0	5	5



(9) 薬物依存症者等ケア強化事業

「あいりん地域を中心とした環境整備」(5か年計画)の一環として、平成26年度から大阪府と協働し、薬物依存症者等に特化した集中的な取り組みを実施している。

1) 専門的なケアの強化

- ① 当事者支援専門プログラム事業 (大阪府単独実施)
- ② 家族心理教育事業 (本市・大阪府各々実施)

2) 専門研修

- ① 関係機関職員専門研修事業 (大阪府単独実施)
- ② 医療機関職員専門研修事業 (大阪府単独実施)

3) 社会復帰支援の強化

- ① 地域における断薬継続促進モデル事業 (本市単独実施)
- ② 当事者支援ネットワーク検討会議 (大阪府単独実施)

本市としては、以下の事業を実施している。

ア 家族心理教育事業 (薬物依存症者の家族教室)

薬物関連問題 (依存症) に悩む人たちを支える家族のための教室(3回コース)を開催した。

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
30. 11. 27	薬物依存症について	大阪精神医療センター 医師 入 来 晃 久	8 人
30. 12. 4	C R A F Tを用いた家族の対応について	藤井クリニック 精神保健福祉士 社会福祉士 小 野 史 絵	7 人
30. 12. 12	体験談・交流会	当 事 者	8 人

イ 地域における断薬継続促進モデル事業

薬物依存症者や違法薬物等使用経験者が断薬を継続できるように、また、社会復帰への意欲が高められるように、訪問 (アウトリーチ) を中心とした支援を実施し、その中で得られた支援ポイント等をまとめたマニュアルを作成した。また、地域で生活する薬物の問題をかかえた人の在宅支援に関わる支援者を対象に研修会を実施し、マニュアルの周知及び配付を行った。

○「薬物依存症者への在宅訪問支援マニュアル」

～薬物の問題を抱えた人の在宅支援を始めるために～ 300冊作成

○在宅薬物依存症者への支援にかかる研修会

33名参加

(10) 依存症対策支援事業

平成30年度から大阪市こころの健康センターを依存症相談拠点とし、依存症対策支援事業を実施している。

ア 相談支援事業

1) 依存症相談員による相談

依存症相談員を配置し、開庁時、常時相談に応じている。

	アルコール	薬物	ギャンブル等	その他	計
相談数	222	223	184	52	681

2) 専門の医師による相談

専門の医師による相談を月1回（予約制）実施した。

【平成30年度 アルコール関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男性	女性	合計
実件数	26	4	30
延件数	26	4	30

対象者の内訳 (人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	0	5	8	4	2	7	26
女性	0	1	3	0	0	0	4
合計	0	6	11	4	2	7	30

相談者別（重複あり） (人)

本人	8
配偶者	9
両親	4
兄弟・姉妹	1
その他（知人、支援者など）	25

主な相談内容

・ アルコール依存症はどんな病気か	・ 家族の対応の仕方について
・ アルコール依存症の治療について	・ 治療につなげるにはどうしたらよいか
・ 本人への治療指導を希望	・ 自助グループについて
・ 断酒継続のための生活上の注意について	・ 家族間の調整
・ 地域支援に向けての処遇検討	など

【平成 30 年度 ギャンブル等関連問題相談実施状況】

相談件数 (人)

	男 性	女 性	合 計
実件数	27	4	31
延件数	27	4	31

対象者の内訳 (人)

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上	合 計
男性	0	6	11	5	3	2	27
女性	1	0	0	2	1	0	4
合計	1	6	11	7	4	2	31

相談者別 (重複あり) (人)

本人	17
配偶者	7
両親	12
兄弟・姉妹	1
その他 (知人、支援者など)	15

ギャンブル等の種類 (重複あり) (人)

パチンコ・パチスロ	16
競馬	4
競輪	0
競艇	2
オートレース	0
その他	10

主な相談内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ギャンブル等依存症はどんな病気か</li> <li>・ ギャンブル等依存症の治療について</li> <li>・ 本人への治療指導を希望</li> <li>・ 生活上の注意について</li> <li>・ 地域支援に向けての処遇検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族の対応の仕方について</li> <li>・ 治療につなげるにはどうしたらよいか</li> <li>・ 自助グループについて</li> <li>・ 家族間の調整</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3) 依存症相談対応力強化事業 (土日電話相談「おおさか依存症土日ホットライン」)

平成 30 年 6 月から、土日の昼間の時間帯 (13:00~17:00) における電話相談を開始した。

【大阪府・堺市と共同実施 (委託事業)】

○電話相談件数 (6 月~3 月) 177 件

事業実施に伴い、普及啓発を目的に「街頭キャンペーン」を行った。

- 1) 日 時：平成 30 年 5 月 24 日 (木) 午前 8 時~9 時
- 2) 場 所：京橋駅前等

3) 内 容：おおさか依存症土日ホットライン案内カード入りポケットティッシュの配布

4) 主 催：大阪府、大阪市、堺市

イ 依存症支援者育成事業

1) アルコール関連問題に係る支援者育成事業（「飲酒と健康を考える会」）

医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・断酒会・AA・アルコール関連作業所等でアルコール関連問題にかかる支援者を対象に、研修を実施した。

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
30.9.10	アルコール依存症の基本と対応について 意見交換会 「ここが聞きたい！を話し合おう」	藤井クリニック 精神保健福祉士 藤 井 望 夢	40 人
30.10.15	女性のアルコール依存症について 事例検討・意見交換会	阪本病院 院長 大 西 英 周	34 人
30.11.15	依存症からの回復の過程と支援について ～当事者の立場から・回復支援 施設の立場から～	リカバリハウスいちご 所長 佐 古 恵 利 子	34 人
30.12.5	高齢者のアルコール依存症について 事例検討・意見交換会	新生会病院 院長 和 気 浩 三	34 人

2) ギャンブル等依存症相談に従事する行政職員を対象に研修を実施した。

【大阪府・堺市と共同実施】

年 月 日	講 義 内 容	講 師	参加者数
30.7.26	・ギャンブル等依存症の基本 ・治療の実際 ・治療プログラムについて	大阪精神医療センター 医師 中 林 大 二	56 人
30.12.6		大阪精神医療センター 医師 入 来 晃 久	50 人

### 3) 医療機関職員専門研修事業

依存症専門医療機関の選定条件の一つである「依存症治療指導者養成研修」として医療機関職員を対象に研修を実施した。【大阪府・堺市と共同実施】

年 月 日	内 容	講 師	参加者数
30. 10. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 依存症治療における基本姿勢について</li> <li>・ アルコール・薬物関連問題を抱える人に安心・安全を提供する</li> <li>・ 体験談</li> <li>・ 大阪精神医療センターでの薬物依存症治療について</li> </ul>	埼玉県立精神医療センター副院長 <b>成瀬 暢也</b> 三重県立こころの医療センター医師 <b>長 徹 二</b> 当 事 者 大阪精神医療センター 医師 <b>入 来 晃 久</b>	74 人
31. 1. 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 依存症治療における基本姿勢について</li> <li>・ ギャンブル等依存症の治療について</li> <li>・ 体験談</li> <li>・ 大阪精神医療センターでのギャンブル等依存症治療について</li> </ul>	埼玉県立精神医療センター副院長 <b>成瀬 暢也</b> 岡山県立精神医療センター医師 <b>宋 龍 平</b> 当 事 者 大阪精神医療センター 医師 <b>中 林 大 二</b>	60 人

### ウ 普及啓発・情報提供事業

#### 1) 市民向け啓発講演会

市民を対象に依存症に関する知識の普及を目的にアルコール・薬物・ギャンブル等の依存症に関する講座を実施した。

年月日	テーマ	講 師	参加者数
<b>【アルコール依存症について知ろう！】</b>			
30. 10. 16	① アルコール依存症ってどんな病気？	新生会病院 院長 <b>和 気 浩 三</b>	68 人
30. 11. 20	② アルコール問題がある方への対応について	新生会病院 精神保健福祉士 <b>小 仲 宏 典</b>	66 人
<b>【薬物依存症について知ろう！】</b>			
30. 8. 24	① 薬物依存症ってどんな病気？	久米田病院 副院長 <b>狩 山 博 文</b>	35 人
30. 9. 3	② 薬物依存症者のケアと感情	武庫川女子大学 教授 <b>寶 田 穂</b>	38 人
<b>【ギャンブル等依存症について知ろう！】</b>			
30. 9. 18	ギャンブル等依存症ってどんな病気？	大阪精神医療センター 医師 <b>入 来 晃 久</b>	63 人
30. 10. 24	ギャンブル問題がある方への対応について	藤井クリニック 精神保健福祉士 <b>藤 井 望 夢</b>	69 人

2) 啓発用パンフレットの作成

アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症に関する普及啓発のため、パンフレットを作成し、各区保健福祉センター、地域関係機関、医療機関等に配布した。

- 「アルコールの問題でお困りの方へ」「薬物の問題で困りの方へ」「ギャンブル等の問題でお困りの方へ」 各 3,000 部作成

3) ギャンブル等依存症啓発事業

ギャンブル等依存症における理解を促進するため、普及啓発のためのポスターを作成し、各区保健福祉センター・大阪メトロ掲示板、競艇場・競輪場・競馬場外馬券売り場等に配付・掲示した。【大阪府と共同実施】

- ポスター 300 枚作成

エ 依存症家族支援事業（依存症者の家族教室）

アルコール・ギャンブル関連問題（依存症）に悩む人たちを支える家族のための教室（3回コース）を実施した。

<アルコール>

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
30. 10. 23	アルコール依存症について	小谷クリニック 院長 小 谷 陣	21 人
30. 11. 5	家族の対応について	小谷クリニック 精神保健福祉士 山 本 哲 也	22 人
30. 11. 19	体験談・交流会	当 事 者	12 人

<ギャンブル等>

年 月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
31. 1. 7	ギャンブル等依存症について	大谷大学 教授 滝 口 直 子	15 人
31. 2. 4	家族の対応について	小谷クリニック 精神保健福祉士 山 本 哲 也	14 人
31. 2. 15	体験談・交流会	いちようの会 司法書士 伊 東 弘 嗣	12 人

オ 依存症関連機関連携会議

大阪府における依存症者の支援に関することについて協議・検討するため、大阪府依存症関連機関連携会議に参画している。

カ 依存症治療拠点及び専門医療機関の選定

依存症患者が適切な医療を受けられるようにするため、基準に基づく依存症に関する専門医療機関及び、治療拠点となる医療機関を選定している。

<選定医療機関>

	保険医療機関名称	保険医療機関所在地	対象の依存症		
			アルコール	薬物	ギャンブル
専門 医療機関	医療法人 藤井クリニック	大阪市都島区東野田町 1-2 1-7-2 F	○	○	○
	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター	枚方市宮之阪三丁目 16 番 21 号	○	○	○
	医療法人小谷会 小谷クリニック	大阪市阿倍野区旭町 1-1-27-2F	○		
治療 拠点機関	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター	枚方市宮之阪三丁目 16 番 21 号	○	○	○

キ 薬物乱用防止対策事業

1) 学生向け研修

覚せい剤、シンナー、危険ドラッグなどの薬物乱用防止にかかる普及啓発を目的に、高等学校の薬物乱用防止講座に講師を派遣した。

年月日	開催校	対象者	講師	参加者数
30. 11. 27	大阪市立第二工芸高等学校	全校生徒及び教職員	大阪精神医療センター 医師 入 来 晃 久	91人
31. 1. 24	私立金蘭会中学・高等学校	高校 1 年生及び教職員	医師 以 倉 康 充	159人

2) 薬物関連問題従事者研修（「薬物乱用防止に関わる教職員研修」）

全市校園の養護教諭・保健主事を対象に、従事する職員の資質および技術の向上を目的に研修を実施している。

3) 各区で実施される「成人の日記念のつどい」に参加する新成人に対して薬物乱用防止啓発用リーフレットを配布した。

年月日	リーフレット名	対象者	配付数
31. 1. 14	YES TO LIFE, NO TO DRUGS	新成人	18,000部

(11) 措置入院者等退院後支援事業

入院をした精神障がい者は、地域生活を送る上で様々な課題やニーズを抱えていることが多く、円滑な社会復帰等の観点からは、そのニーズに応じて、退院後に必要な医療、福祉、介護、就労支援等の支援を受けられる環境を整備することが重要である。

大阪市では、こころの健康センターにおいて、平成30年度より「大阪市措置入院者等退院後支援事業」を実施し、入院中の精神障がい者が、社会復帰の促進及び自立と社会経済活動への参加促進等のために必要な医療等の包括的支援を継続的かつ確実に受けることにより、地域でその人らしい生活を安心して送ることができるよう支援をしている。

本年度は22件の計画を作成した。

※支援対象者：退院後の医療等の支援を行う必要がある入院中の精神障がい者のうち、退院後支援に関する計画に基づく支援をうけることを希望したもの。

支援実施状況 (延件数)

		支援対象				
		本人	家族	医療機関	支援関係者	合計
支援方法	訪問	137	5	3	10	155
	電話	66	14	242	223	545
	面接	16	0	0	21	37
	合計	219	19	245	254	737

(12) 組織の育成

地域精神保健福祉の向上を図るため、保健福祉センターにおいて、各区の自助組織・家族会・ボランティア等の育成に努めているが、これに協力するとともに、広域的な組織の育成に努めている。



(13) 精神医療審査会

平成8年4月からの精神保健福祉法の大都市特例の施行に伴い、同法第12条に基づき、大阪市精神医療審査会を設置し、平成12年4月の大阪市こころの健康センター設立により、その事務局を同センターに置いた。精神医療審査会は10名の委員で構成され2つの合議体に区分し、定期病状報告書等の審査及び退院・処遇改善請求等の審査を行い、精神科病院入院患者の適正な医療及び保護の確保に努めている。なお、精神医療審査会の円滑な運営のために予備委員5名をおいている。

ア 開催状況

全体会議	平成31年 3月29日
合議体 審 査	平成30年 4月19日
	平成30年 5月18日
	平成30年 6月21日
	平成30年 7月20日
	平成30年 8月16日
	平成30年 9月21日
	平成30年10月18日
	平成30年11月16日
	平成30年12月20日
	平成31年 1月18日
	平成31年 2月21日
	平成31年 3月15日

イ 入院届・定期病状報告の審査状況

(件)

		医療保護入院者の入院届	医療保護入院者の定期病状報告	措置入院者の定期病状報告	合 計
審	査 件 数	761	1	15	777
結 果	現入院形態が適当	761	1	15	777
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0

ウ 退院・処遇改善請求の審査状況

(件)

請求件数		結果	
退院請求 (うち処遇改善請求を含む)	30 (2)	現入院形態が適当	7
		他の入院形態へ移行	2
		入院の継続は適当でない	1
		取り下げ等	20 (2)
処遇改善請求 (単独)	1	現処遇が適当	0
		現処遇が不適当	0
		取り下げ等	1

エ 実地審査状況

入院後概ね3か月を経過した措置入院患者及び実地審査の必要があると認めた医療保護入院患者等を対象に、病状及び措置に関する実地審査を実施し、精神障がい者の人権尊重を基本とした適正な医療の確保に努めている。

(件)

	審査件数	結果		対象となった 病院数
		現入院形態が適当	他の入院形態へ移行	
措置入院	7	7	0	5
医療保護入院	7	7	0	6
任意入院	7	7	0	7
合計	21	21	0	18

(14) 大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会の運営（委員数7人）

平成18年4月1日に精神保健福祉審議会の部会として設置し、平成21年8月1日からは、組織を独立させ、審査会議として設置要綱を制定し、さらに、平成25年4月1日からは執行機関の附属機関に関する条例に基づき、大阪市自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査委員会として設置している。自立支援医療費（精神通院）支給認定、精神障がい者保健福祉手帳の等級判定に係る審査を行う委員会の運営を行っている。

平成30年度開催回数 23 回

## 2 精神保健福祉主管課業務

平成12年4月の大阪市こころの健康センター開設時より、精神保健福祉主管課の業務の一部を実施している。

### (1) 精神保健福祉審議会の運営（委員数 12人）

精神保健福祉法第9条第1項及び大阪市精神保健福祉審議会条例に基づき、本市の精神保健福祉施策全般について審議する大阪市精神保健福祉審議会の運営事務を行っている。

#### ○第24回 大阪市精神保健福祉審議会

開催日：平成31年3月22日

- 議 題：① 「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について  
② 平成31年度精神保健福祉関係予算の概要について  
③ 地域支援調整チームからの意見に対する回答について  
④ その他

### (専門部会)

#### ア 自殺防止対策部会（委員数 11人）

平成20年7月1日に自殺防止対策部会設置要綱を制定し、自殺対策基本法の理念に基づき、市民が「生きやすい社会」の実現を目指し、総合的・効果的な自殺防止対策について審議を行っている。

#### ○第23回 大阪市精神保健福祉審議会・自殺防止対策部会

開催日：平成31年3月20日

- 議 題：①平成30年度の自殺対策の実施状況について  
②平成31年度の自殺対策の取り組みについて  
③その他

(2)措置・緊急措置診察（入院）事業

ア 措置診察

精神保健福祉法第27条にもとづく精神保健指定医による措置診察を実施している。措置入院患者の移送については、本市職員が同乗して本市救急車で移送を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
措置診察件数 (含む本鑑定)	9	22	18	21	16	23	20	19	17	25	13	20	223
22条申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	8	19	18	21	14	22	20	19	16	25	11	15	208
24条通報	1	3	0	0	2	1	0	0	1	0	2	5	15
26条等通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置入院件数（該当）	8	17	15	19	15	20	18	16	16	20	10	18	192
非該当件数	1	5	3	2	1	3	2	3	1	5	3	2	31
要入院	1	4	1	2	0	2	1	1	1	5	2	2	22
要通院	0	1	2	0	1	1	0	1	0	0	1	0	7
医療不要等	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2

イ 緊急措置診察

夜間・休日の対応については、緊急措置診察受付窓口を大阪府・堺市と共同で設置し、平日夜間は午後5時から翌日午前9時、休日は24時間、警察からの通報を受け付け、待機職員が緊急措置診察業務を行っている。

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
緊急措置診察件数	4	14	13	16	8	16	15	16	10	15	8	12	147
緊急措置入院件数（該当）	4	11	8	11	7	13	13	13	9	14	4	11	118
非該当件数	0	3	5	5	1	3	2	3	1	1	4	1	29
要入院	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4
要通院	0	2	4	2	0	2	1	2	1	1	4	1	20
医療不要等	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	5
緊急措置入院後の措置診察件数	4	11	6	11	8	13	12	10	9	13	4	9	110

(3) 医療保護入院等の移送事業

精神保健福祉法第34条に基づく「医療保護入院等のための移送事業」については平成12年7月から開始した。移送のための診察にあたっては各区の保健福祉センターと大阪市こころの健康センターが合同で事前調査を行っている。移送は本市の救急車で行き、大阪市こころの健康センター職員が同乗し、精神障がい者の人権に配慮した医療の確保に努めている。

【平成30年度実績 0件】

(4) 精神障がい者保健福祉手帳の交付

各種の支援サービス利用を可能にし、精神障がい者の社会復帰と社会参加の促進を図るために交付している。

【平成30年度末精神障がい者保健福祉手帳交付者数 36,122名】

(1級 2,808人 2級 20,516人 3級 12,798人)

(5) 障がい者の乗車料金福祉措置

平成9年10月から、市営（平成30年4月1日より民営化）の地下鉄・市バス・ニュートラム等の乗車料金を等級に応じた割引を実施しており、手帳所持者に乗車料金割引証または無料乗車証を交付している。

(6) 自立支援医療費（精神通院）の支給認定

障害者総合支援法に基づき精神障がい者の通院医療について、医療費の一部に対し公費負担を行っている。

【平成30年度末受給者数 63,167人】

【自立支援医療費（精神通院）公費負担額 11,062,801,879円】

(7) 精神障がい者地域生活支援広域調整等事業

大阪市では平成14年11月から精神科病院に長期入院中の患者の退院に向けて地域生活移行支援事業を実施してきた。平成18年4月に障がい者自立支援法が成立し、地域生活支援事業のうち精神障がい者退院促進支援事業が都道府県業務となったが、大阪市は大阪府から委託をうけて、市内9か所の地域活動支援センター（生活支援型）の自立支援員やピアサポーターとともに事業を実施してきた。

平成20年度に、国による「地域移行支援特別対策事業実施要綱」が制定されたことで、本市も「コーディネーターの配置」「退院促進ピアサポート事業」「体験宿泊推進事業」を特別強化策として実施し、平成21年度には、本事業のさらなる推進を図るために「精神障がい者地域生活移行支援事業検討会議」を設置した。

なお、平成24年度の障害者自立支援法の改正により地域移行支援が個別給付となっている。

平成30年4月から、大阪市独自の取り組みとして、精神科病院に長期（概ね1年以上）入院している者で、寛解・院内寛解状態にも関わらず退院意欲の低い者に対し、退院意欲向上のための支援を行う「地域生活移行推進事業」を実施している。

ア 地域移行支援の実施状況（過去10年間）

(人)

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
退 院	18	21	19	15	14	16	16	13	12	17
退院に至らず支援中止・中断	1	2	2	2	6	10	7	0	2	2
退院に至らず支援継続	38	32	26	17	24	18	11	8	12	9
合 計	57	55	47	34	44	44	34	21	26	28

(H30年度：R1年7月請求分までの状況)

#### イ 地域生活移行推進事業

支援対象者（精神科病院で、病状が安定し退院可能な長期入院者）に対し、こころの健康センターが選定した登録事業者が、精神科病院等に訪問し、退院意欲を高めることで障がい者自立支援給付制度の地域移行支援の申請ができるよう支援することを目的として実施している。

平成30年度 推進事業利用者及び支援状況

利用者：9人

内 平成30年度中に地域移行支援の申請を行った者：5人

内 退院した者：1人

#### ウ ピアサポーターによる啓発活動

ピアサポーターは、入院患者や病院関係者に対し地域生活について情報提供することで、入院患者の退院意欲を高めると共に、精神科病院職員の地域移行への士気を高めることで地域移行支援等の利用を促進することを目的として実施している。

#### 精神科病院への啓発

実施日	場 所	対 象 者	参加者数
30. 7. 20	美原病院	入院患者	35人
30. 9. 25	浜寺病院	入院患者	7人
30. 10. 18	浜寺病院	入院患者	7人
30. 11. 20	浜寺病院	入院患者	7人
30. 12. 10	浜寺病院	入院患者	6人
31. 1. 17	浜寺病院	入院患者	5人
31. 2. 14	こころの健康センター	地域移行支援利用者、 病院職員、地域支援者	31人
31. 2. 26	オレンジホスピタル	入院患者、病院職員	12人
31. 3. 14	浜寺病院	入院患者	6人

#### 市民・支援者への啓発

実施日	場 所	対 象 者
30. 5. 11	住吉区保健福祉センター	患者家族
30. 7. 25	生野区保健福祉センター	患者家族
30. 7. 26	住之江区保健福祉センター	患者家族
30. 7. 23	平野区保健福祉センター	患者家族

30. 9. 19	西淀川区保健福祉センター	患者家族
30. 9. 25	淀川区保健福祉センター	患者家族
30. 11. 15	中央区保健福祉センター	患者家族
30. 11. 27	東淀川区保健福祉センター	患者家族
30. 12. 6	こころの健康センター	市民
30. 12. 12	東淀川区保健福祉センター	ボランティア
30. 12. 14	阿倍野区保健福祉センター	患者家族
31. 1. 18	港区保健福祉センター	患者家族
31. 2. 1	西成区保健福祉センター	患者家族
31. 2. 7	東成区保健福祉センター	患者家族
31. 2. 6	旭区保健福祉センター	患者家族
31. 2. 27	都島区保健福祉センター	患者家族
31. 2. 27	生野区保健福祉センター	患者家族
31. 3. 9	阿倍野区保健福祉センター	患者家族

#### エ ピアサポーター交流会

ピアサポーターが当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的とし交流会を行った。

実施日	内容	場所	参加者数
30. 6. 20	・自己紹介、近況報告 ・情報交換	こころの健康センター	8人
30. 8. 9	・ピアサポーター養成講座と合同 「語りの効果」について	こころの健康センター	17人
30. 10. 3	・交流会、情報交換 ・活動報告	こころの健康センター	13人
30. 11. 21	・新任期保健師との交流 ・情報交換	こころの健康センター	10人

#### オ ピアサポーター養成講座

入院患者の退院意欲を高め、社会的入院を解消していくためには、当事者の仲間であるピアサポーターの存在が極めて重要かつ有効である。地域生活移行支援事業を利用して退院し地域生活を送っている精神障がい者等でピアサポート活動を希望する者を対象とし、当事者支援の輪と活動の場を広げることを目的に養成講座を開催している。平成30年度は7人修了した。

実施日	内 容	講 師
30. 7. 10	ピアサポートの持つ意義と役割	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松 田 博 幸
30. 7. 17	リカバリーについて	大阪府立大学社会福祉学部 准教授 松 田 博 幸
30. 7. 23	退院促進の意義と大阪の精神科病院事情	大阪精神医療人権センター 山 本 深 雪
30. 8. 2	精神科病院でのピアサポーターの関わりと地域での啓発活動	ピアサポーター
30. 8. 9	語りの効果	大阪市立大学大学院生活科学研究科 助教 清 水 由 香
30. 8. 16	語りの実際①	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
30. 8. 23	語りの実際②	こころの健康センター 精神保健福祉相談員
30. 8. 30	語りの実践とその評価について	桃山学院大学 教授 栄 セツコ

#### カ 技術支援・コーディネート

内 容	訪問 (件)	電話 (件)
地域移行ケース相談	0	79
地域移行相談者への事前面接	8	
地域移行相談者ケースカンファレンス	8	
地域移行相談者への継続面接	10	
地域移行ケア会議	8	
病院訪問啓発活動及び連絡調整	18	54
病院啓発講座	8	
合 計	60	133

#### キ 相談支援事業への研修

障がい者基幹相談支援センターと協力し、相談支援事業所に研修を行った。

実施日	内 容	講 師	参加者数
30. 8. 21	・精神障がい者の理解と支援について	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	24人
31. 2. 22	・精神障がい者の地域移行について	こころの健康センター 精神保健福祉相談員	70人



(8) 心神喪失者医療観察法に基づく社会復帰支援事業

重大な他害行為を行った心神喪失者等に対して継続的かつ適切な医療や地域ケアを確保して、その社会復帰を促進することを目的に心神喪失者等医療観察法が平成 17 年に施行された。

こころの健康センターでは、保護観察所および医療機関が定例的に実施するケア会議に出席し、関係機関、各区保健福祉センターが主体的に地域処遇にかかわれるよう技術支援をしている。

平成 17 年 7 月から 30 年度末までの対象者は 92 人で、平成 30 年度末までに医療観察処遇終了者は 79 人となっている。

ア 平成 30 年度医療観察法対象者および支援状況

対象者 : 20 人

処遇内訳:入院処遇対象者 5 人 通院処遇対象者 15 人

疾病別 :統合失調症 16 人 アンフェタミンによる精神病性障がい 1 人

双極性感情障がい 1 人 その他 2 人

ケア会議出席:77回

イ 医療観察制度に係る業務連絡会への参加

医療観察法における対象者への処遇を適正かつ円滑に実施するため、大阪保護観察所が開催する会議に参加している。

実施日	内 容	参 加 者
30. 6. 22	大阪の医療観察事件の係属状況	大阪市こころの健康センター 担当者
	地域処遇に係る情報交換	大阪府こころの健康総合センター 担当者
31. 1. 16	制度に係る意見交換	堺市こころの健康センター 担当者
		大阪保護観察所 社会復帰調整官

(9) 精神科救急医療体制整備事業

ア おおさか精神科救急ダイヤルの設置

大阪府・堺市と共同で相談窓口の少ない夜間・休日の時間帯を中心に精神科救急医療の利用などについて、平成14年7月29日から、24時間体制で電話相談に応じることのできる「こころの救急相談」を設置していた。平成27年度より開設時間を夜間・休日とし、「おおさか精神科救急ダイヤル」に変更した。かかりつけの医療機関が診療を行っていない夜間・休日において、精神疾患を有する方やその家族の方などから、こころの病気に関する緊急時に必要に応じて精神科救急医療機関の利用について案内を行うとともに、相談のなかで医療的な判断等が必要な場合は精神科救急病院の医師の助言を求めて速やかに対応を行う。

平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）おおさか精神科救急ダイヤル利用状況

(大阪府下全域の合計件数)

(1) 相談利用

種別	件数 (件)	割合 (%)
新規	4,540	28.1
継続	10,572	65.3
不明	1,075	6.6
合計	16,187	100.0

(2) 利用者

種別	件数 (件)	割合 (%)
本人	12,344	76.3
家族その他	3,843	23.7
合計	16,187	100.0

(3) 性別

種別	件数 (件)	割合 (%)
男	7,484	46.2
女	8,175	50.5
不明	528	3.3
合計	16,187	100.0

(4) 地域

種別	件数 (件)	割合 (%)
大阪市内	7,290	45.1
府域	7,177	44.3
他府県	203	1.2
不明	1,517	9.4
合計	16,187	100.0

(5) 年齢

種別	件数 (件)	割合 (%)
10歳未満	10	0.06
10歳代	274	1.69
20歳代	1,012	6.25
30歳代	1,870	11.56
40歳代	3,757	23.21
50歳代	2,339	14.45
60歳代	3,938	24.33
70歳代	625	3.86
80歳代以上	263	1.62
不明	2,099	12.97
合計	16,187	100.0

(6) 相談内容（複数有り）

結果	件数 (件)	割合 (%)
医療関係	9,697	54.7
福祉関係	162	0.9
その他	7,857	44.4
合計	17,716	100.0

イ 精神科救急医療情報センターの設置

おおさか精神科救急ダイヤル、救急隊、警察からの相談に対して、精神科救急医療情報センターの精神保健福祉士等が医療機関と連携して受診が必要かどうかを判断し、受診が必要な場合は症状等にあった医療機関に受診を予約している。

【受付時間】

平 日 17時から翌朝9時  
土曜日・休日 9時から翌朝9時

ウ 一次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センター、おおさか精神科救急ダイヤルで外来対応可能と判断された場合に、大阪市が開設している精神科一次救急診療所にて外来対応を行っている。

【受付時間】

平日・土曜日 20時から23時30分  
日曜日・休日 10時から16時30分

エ 二次救急医療体制の整備

精神科救急医療情報センターで入院医療も含めた救急受診が必要と判断された場合に速やかに入院できるよう、府内の精神科病院に救急入院用病床を確保するとともに外来対応も行っている。

【受付時間】

平 日 17時から翌朝9時 , 土曜日・休日 9時から翌朝9時

○確保病床件数及び受診件数(大阪市・大阪府・堺市) (件)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
病床確保数	1,502	2,190	2,857	2,928	3,023	3,016	3,031	3,031	3,039	3,033
入院件数	1,346	1,361	1,379	1,518	1,309	1,367	1,425	1,339	1,327	1,334
外来受診件数	458	445	436	397	384	327	334	254	265	284
合計	1,804	1,806	1,815	1,915	1,693	1,694	1,759	1,559	1,592	1,618

オ 身体合併症治療体制の確保

平成14年4月1日から大阪府の精神科救急医療システムで運用し、大阪府・堺市と共同で身体合併症受入病院を府下に11病院で対応している。

○身体合併症受入病院(11病院)

北野病院・大阪大学医学部附属病院・大阪急性期・総合医療センター

大阪市立大学医学部附属病院・藍野病院・関西医科大学総合医療センター・東香里病院

浅香山病院・大阪医科大学附属病院・大阪市立総合医療センター・大阪赤十字病院

## ○身体合併症患者の受入件数(大阪市・大阪府・堺市)

(件)

病院名	精神科 病床数	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
北野病院	12	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
大阪大学医学部附属病院	52	1	1	1	0	2	2	0	5	3	4
大阪急性期・総合医療センター	34	92	108	111	102	86	83	67	64	84	73
大阪市立大学医学部附属病院	38	3	5	6	5	1	4	4	2	2	3
藍野病院	600	127	74	74	73	78	70	81	118	154	98
関西医科大学総合医療センター	39	2	3	4	10	9	5	2	14	82	151
東香里病院	173	21	16	18	5	17	6	13	9	10	1
浅香山病院	828	61	41	45	37	37	33	46	29	21	31
大阪医科大学附属病院	60	9	6	8	9	9	19	14	12	21	4
大阪市立総合医療センター	55	8	7	9	22	24	33	23	31	41	24
大阪赤十字病院	42	9	4	2	5	2	4	8	8	4	4
合 計	1,933	334	265	278	269	265	259	270	292	422	393

※病床数は平成31年3月31日現在の数である。

カ 夜間・休日精神科合併症支援システム

精神科合併症患者については、医療機関での受け入れが、通常の場合に比べ時間を要している状況であり、精神科合併症患者を受け入れた二次救急病院や救命救急センター（以下、「二次救急病院等」と言う。）を支援し、救急患者をスムーズに受け入れ、その後の治療まで切れ目なく対応するために、大阪府・堺市と共同で「夜間・休日精神科合併症支援システム」を平成27年8月17日から運用している。

- システムの稼働時間  
平日夜間（午後5時から翌朝9時まで）及び休日（土・日曜日、祝日、年始・年末）
- 輪番の合併症支援病院（精神科病院）数及びベッド数  
2病院、ベッド数2床（各病院1床ずつ）
- 利用状況（平成28年4月1日から平成31年3月31日）

（月別利用件数） （件）

	H28	H29	H30
4月	23	23	21
5月	27	25	18
6月	13	22	24
7月	11	18	20
8月	20	24	21
9月	12	19	31
10月	27	18	28
11月	25	18	28
12月	16	13	22
1月	22	14	27
2月	15	21	15
3月	25	29	22
合計	236	244	277

（対応内訳） （件）

	H28	H29	H30	合計
コンサルテーション	103	110	121	334
精神科病院外来受診	18	16	15	49
精神科病院入院	107	112	132	351
その他	8	6	9	23
合計	236	244	277	757

おおさか精神科救急情報センター 平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）実績報告

1. 対応件数 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総件数	212	221	210	211	217	241	209	209	198	194	168	257	2,547

2. 相談経路

	件数
救急隊	562
おおさか精神科救急ダイヤル	792
警察	917
その他	276
合計	2,547

3. 発生地域

	件数
大阪府	1348
大阪市	1018
堺市	179
府外発生対象外	1
不明	1
合計	2547

4. 対象者性別

	件数
男性	1,190
女性	1,341
不明	16
合計	2,547

## 5. 対応医療機関件数

(件)

浅香山	17
小曽根	2
こころあ	18
貝塚中央	64
木 島	115
久米田	148
京 阪	38
光 愛	10
国 分	151
阪 本	39
さ わ	287
結のぞみ	163
七 山	102
ねや川サナトリウム	38
阪 南	244
水 間	19
浜 寺	53
精神医療センター	3
茨 木	7
新阿武山	38
大阪さやま	8
八尾こころのホスピタル	11
関西サナトリウム	12
丹比荘	57
阪奈サナトリウム	12
ほくとクリニック	167
関西記念	14
吉 村	15
オレンジホスピタル	7
小 阪	8
榎 坂	3
新生会	1
東香里	3
合 計	1,874

## 6. 時間帯別入電件数

(件)

0:00～0:59	109
1:00～1:59	97
2:00～2:59	86
3:00～3:59	68
4:00～4:59	31
5:00～5:59	29
6:00～6:59	33
7:00～7:59	19
8:00～8:59	8
9:00～9:59	75
10:00～10:59	74
11:00～11:59	68
12:00～12:59	73
13:00～13:59	72
14:00～14:59	69
15:00～15:59	67
16:00～16:59	45
17:00～17:59	336
18:00～18:59	211
19:00～19:59	194
20:00～20:59	229
21:00～21:59	212
22:00～22:59	165
23:00～23:59	177
合 計	2,547

## (10) 精神保健福祉に関する予算・決算業務

社会復帰施設の建設・整備以外の精神保健福祉に関する事業の予算・決算業務等を大阪市こころの健康センターで実施している。

# 第 3 資 料



## 1 大阪市精神保健福祉審議会 開催内容

第1回 平成8年4月30日（火） 於；大阪コクサイホテル

### 審議事項

- ・大阪市精神保健福祉審議会の設置について
- ・大阪市精神保健福祉審議会条例

第2回 平成9年9月12日（金） 於；大阪第一ホテル

### 審議事項

- ・大阪市の精神保健福祉センターの機能のあり方について
- ・（仮称）大阪市障害者支援プランについて

### 報告事項

- ・平成9年度精神保健福祉関係事業について
- ・大和川病院について

第3回 平成10年9月11日（金） 於；大阪市役所

### 審議事項

- ・審議会の公開について
- ・大阪市障害者支援プランについて
- ・地域保健法及び地域精神保健福祉体制について

### 報告事項

- ・平成10年度精神保健福祉事業について
- ・精神保健福祉法の改正について

第4回 平成12年2月22日（火） 於；大阪市役所

### 審議事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・「（仮称）大阪市こころの健康センター」の設置と新たな地域精神保健福祉体制について
- ・大阪市内における精神科救急体制の検討について
- ・施設コンフリクトの解消に向けた基本的な考え方について

### 報告事項

- ・精神保健福祉法の改正について

第5回 平成13年2月8日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市内における精神科救急医療体制の整備に関する中間とりまとめ（案）」について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第6回 平成14年3月28日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・大阪市域の精神科救急医療体制の整備について

報告事項

- ・「大阪市障害者支援プラン」の進捗状況等について
- ・精神保健福祉に関する平成14年度新規事業

第7回 平成15年2月7日（金） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・（仮称）大阪市精神科救急医療部会の設置について
- ・新障害者支援計画の策定について

報告事項

- ・大阪市こころの健康センターの事業実績等について

第8回 平成16年3月26日（金） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の策定について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」開催状況について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成16年度予算（案）の概要について

第9回 平成17年3月28日（月） 於；大阪市立大学医学部医療研修センター

報告事項

- ・「大阪市障害者支援計画・重点施策実施計画」の進捗状況について（報告）
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会」「精神科救急医療部会」の開催状況について（報告）
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成17年度予算（案）の概要について
- ・「心神喪失者等医療観察法」について
- ・障害者自立支援法案の概要

第10回 平成18年3月28日（火） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・障害者自立支援法案の概要について
- ・「通院医療費公費負担・手帳交付審査部会の開催状況について」
- ・新たな精神科救急医療体制について
- ・大阪市こころの健康センター事業実績及び平成18年度予算（案）の概要について
- ・精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉審議会の取り扱いについて

第11回 平成19年3月26日（月） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成19年度予算の概要について
- ・障害者自立支援法に基づく福祉サービスの現状について
- ・障害福祉計画について

第12回 平成20年3月26日（水） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「自殺防止対策部会」の設置について

報告事項

- ・精神保健福祉関係平成20年度予算の概要について
- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」への部会名称変更及び開催状況について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例について
- ・障がい者福祉サービスの現状について

第13回 平成21年3月30日（月） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・「大阪市自殺対策基本指針（案）」について

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自立支援医療費（精神通院）支給認定・手帳交付審査部会」の開催状況について
- ・精神保健福祉関係平成21年度予算の概要について
- ・第2期大阪市障害福祉計画について

第14回 平成22年1月21日（木） 於；こころの健康センター

審議事項

- ・会長の選出について
- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行条例の一部改正について
- ・専門部会の再開について

報告事項

- ・自殺防止対策関係識者検討会議の報告について
- ・今後のスケジュールについて

第15回 平成22年3月26日（金） 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成22年度精神保健福祉関係予算の概要について

第16回 平成23年3月14日(月) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成23年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害者制度改革等について

第17回 平成24年3月29日(木) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪市障害者支援計画・障害福祉計画について
- ・平成24年度精神保健福祉関係予算の概要について

第18回 平成25年3月26日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「精神科救急医療部会」の開催状況について
- ・「自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成25年度精神保健福祉関係予算の概要について

第19回 平成26年3月26日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成26年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・次期大阪市障がい者支援計画・大阪市障がい福祉計画の策定について

第20回 平成27年3月31日(火) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪府精神科救急医療運営審議会」の開催状況について
- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成27年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・大阪市障がい者支援計画・第4期大阪市障がい福祉計画（案）について

第21回 平成28年3月23日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・大阪版新精神科救急体制（精神科合併症支援システム）について
- ・平成28年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の施行に向けた本市の取組みについて

第22回 平成29年3月30日(木) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成29年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

第23回 平成30年3月28日(水) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について及び「大阪市自殺対策基本指針（第2次）」（案）について
- ・平成30年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

第24回 平成31年3月22日(金) 於；こころの健康センター

報告事項

- ・「大阪市精神保健福祉審議会自殺防止対策部会」の開催状況について
- ・平成31年度精神保健福祉関係予算の概要について
- ・地域支援調整チームからの意見に対する回答について

## 2 精神医療審査会

### (1) 運営状況

ア 精神医療審査会の開催状況（過去10年間） (回)

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
審 査 会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 議 体	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

イ 入院届の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
入院届		573	590	670	664	672	843	771	732	788	761
結果	現入院形態が適当	573	590	670	664	672	843	771	732	788	761
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ウ 医療保護入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
定期病状報告		1	0	0	0	0	0	2	1	1	1
結果	現入院形態が適当	1	0	0	0	0	0	2	1	1	1
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ 措置入院者定期病状報告の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
定期病状報告		29	21	17	24	39	33	22	24	21	15
結果	現入院形態が適当	29	21	17	24	39	33	20	24	21	15
	他の入院形態へ移行	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

オ 退院請求の審査状況（過去10年間） (件)

		年度									
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
退院請求		13	14	19	11	16	16	22	13	27	30
結果	現入院形態が適当	4	4	6	2	2	7	6	7	6	7
	他の入院形態へ移行	0	0	2	1	5	0	2	1	3	2
	入院の継続は適当でない	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	取り下げ等	9	10	11	8	9	9	14	5	17	20

カ 処遇改善請求の審査状況（過去10年間）

（件）

		年度									
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
処 遇 改 善 請 求		2	1	3	4	5	1	0	4	5	3
結 果	処 遇 が 適 当	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0
	処 遇 が 適 当 で ない	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	取 り 下 げ 等	2	0	2	3	4	0	0	4	3	3

(2) 実地審査状況（過去10年間）

（件）

		年度									
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
審 査 件 数		16	17	21	26	24	20	22	22	24	21
結 果	現入院形態が適当	16	17	21	26	24	20	21	22	24	21
	他の入院形態へ移行	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
	入院の必要なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



## 3 措置（緊急措置）診察・入院状況（過去10年間）

(件)

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
申請・通報件数	199	246	290	294	302	373	327	343	299	364
22条申請	2	0	1	0	0	0	2	4	2	3
診察せず・取下げ他	1	0	1	0	0	0	2	4	2	3
措置診察件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置入院件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23条通報	99	127	134	133	121	135	131	120	88	139
診察せず・取下げ他	32	49	59	79	80	90	97	90	40	43
措置診察件数	67	78	75	54	41	45	34	30	48	96
措置入院件数	57	73	73	50	39	43	33	27	45	89
非該当件数	10	5	2	4	2	2	1	3	3	7
24条通報	30	31	31	43	36	41	26	22	23	21
診察せず・取下げ他	12	12	2	7	12	13	12	6	4	6
措置診察件数	18	19	29	36	24	28	14	16	19	15
措置入院件数	11	14	24	34	19	28	14	13	14	12
非該当件数	7	5	5	2	5	0	0	3	5	3
25条の2、26条通報	68	88	125	118	145	197	174	197	186	201
診察せず・取下げ他	68	87	124	116	143	196	174	197	185	201
措置診察件数	0	1	1	2	2	1	0	0	1	0
措置入院件数	0	1	1	2	2	1	0	0	0	0
非該当件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
緊急措置診察件数	138	135	110	122	104	98	80	105	134	145
緊急措置入院件数	125	114	93	110	90	84	69	89	110	116
本鑑定実施せず他	14	17	6	11	7	3	1	8	4	6
本鑑定件数	111	97	87	99	83	81	68	80	107	110
該当件数	91	81	75	87	75	74	56	72	98	91
非該当件数	20	16	12	12	8	7	12	8	9	19
非該当件数	13	21	16	12	14	13	11	16	24	27

※ 同年度において「緊急措置入院件数＝本鑑定実施せず＋本鑑定件数」となっていない年度があるのはその年度末の緊急措置診察の本鑑定を翌年度に行っているため。

大阪府下の精神科病床を有する病院（平成30年6月末日現在）

	病 院 数	指定病院数	精神科病床
大 阪 市 内	7病院	4病院	235床
堺 市 内	6病院	4病院	2,762床
大 阪 府 下 (大阪市・堺市を除く)	50病院	38病院	15,890床
合 計	63病院	46病院	18,887床

大阪市内の精神科病床を有する病院（平成30年6月末日現在）

		病 院 名	精神科病床
大阪市内	国立病院	大阪医療センター	4床
	府立病院	大阪急性期・総合医療センター	34床
	指定病院	大阪市立総合医療センター	55床
		大阪市立大学医学部附属病院	38床
		ほくとクリニック病院	50床
		大阪赤十字病院	42床
	そ の 他	北野病院	12床
合 計			235床

4 精神障がい者保健福祉手帳交付状況（過去10年間）

(人)

年度		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		等	1級	2,376	2,547	2,668	2,722	2,733	2,672	2,721	2,727
級	2級	10,775	11,961	13,354	14,313	15,016	15,772	16,964	17,776	18,367	20,516
	3級	4,200	4,814	5,337	6,361	7,737	9,287	10,056	11,134	12,629	12,798
交付数計		17,351	19,322	21,359	23,396	25,486	27,731	29,741	31,637	33,624	36,122

5 精神障がい者保健福祉手帳所持者数

(30年度末現在)

(人)

区	等級	1級	2級	3級	計
北		64	550	441	1,055
都島		83	627	442	1,152
福島		45	255	200	500
此花		96	412	300	808
中央		51	371	300	722
西		55	379	294	728
港		74	609	379	1,062
大正		79	539	306	924
天王寺		55	354	262	671
浪速		76	502	407	985
西淀川		65	510	385	960
淀川		188	1,185	650	2,023
東淀川		156	1,595	977	2,728
東成		75	662	340	1,077
生野		171	1,129	576	1,876
旭		128	761	485	1,374
城東		156	1,181	602	1,939
鶴見		91	721	375	1,187
阿倍野		93	717	406	1,216
住之江		122	931	566	1,619
住吉		184	1,551	916	2,651
東住吉		175	1,304	732	2,211
平野		319	2,049	1,240	3,608
西成		207	1,622	1,217	3,046
合計		2,808	20,516	12,798	36,122

7 自立支援医療費（精神通院）  
受給者数

(30年度末現在)(人)

区	受給者数
北	2,154
都島	2,032
福島	1,046
此花	1,407
中央	1,457
西	1,360
港	1,824
大正	1,645
天王寺	1,270
浪速	1,858
西淀川	1,790
淀川	3,902
東淀川	5,157
東成	1,866
生野	3,331
旭	2,389
城東	3,564
鶴見	2,105
阿倍野	2,106
住之江	2,751
住吉	4,540
東住吉	3,646
平野	5,394
西成	4,573
合計	63,167

6 自立支援医療費（精神通院）受給者数状況（過去10年間）

(人)

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
受給者数	37,842	41,313	43,878	46,918	49,419	52,086	54,446	57,497	60,271	63,167

8 保健福祉センターにおける相談指導の状況

(平成30年度実績) (人)

	面接相談		電話相談	訪問指導		精神保健福祉 相談 合計
	実人員	延人員①	延人員②	実人員	延人員③	① + ② + ③
北	269	1,214	971	55	160	2,669
都島	148	417	487	60	135	1,247
福島	97	352	291	48	108	896
此花	206	1,029	1,192	81	172	2,680
中央	81	356	528	62	144	1,171
西	144	615	613	57	111	1,540
港	175	733	1,012	61	188	2,169
大正	237	1,355	958	53	123	2,726
天王寺	152	434	775	72	131	1,564
浪速	125	566	636	52	229	1,608
西淀川	169	623	468	17	74	1,351
淀川	229	673	1,008	70	152	2,132
東淀川	364	1,030	1,738	95	269	3,496
東成	130	455	1,002	45	265	1,897
生野	243	1,016	485	79	183	2,006
旭	179	592	768	46	143	1,728
城東	179	601	869	47	152	1,848
鶴見	173	690	540	99	212	1,714
阿倍野	232	997	917	67	178	2,391
住之江	124	320	795	86	204	1,529
住吉	230	798	2,078	128	321	3,555
東住吉	371	1,170	1,050	101	264	2,956
平野	318	888	841	92	209	2,348
西成	533	2,240	2,415	156	319	5,663
合計	5,108	19,164	22,437	1,729	4,446	52,884

9 保健福祉センターにおける一般クリニックの状況

(平成30年度実績)

	一般クリニック		
	回数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	36	67	97
都 島	31	59	68
福 島	35	47	75
此 花	24	34	73
中 央	21	32	54
西	21	36	47
港	24	48	62
大 正	31	37	51
天 王 寺	22	36	63
浪 速	21	34	61
西 淀 川	23	47	48
淀 川	45	96	132
東 淀 川	45	89	115
東 成	34	49	76
生 野	24	61	69
旭	21	35	48
城 東	36	79	86
鶴 見	23	57	63
阿 倍 野	35	60	88
住 之 江	22	36	66
住 吉	31	46	72
東 住 吉	34	70	105
平 野	33	58	83
西 成	47	75	145
合 計	719	1,288	1,847

10 保健福祉センターにおける日常生活向上教室・生活技能訓練教室の状況

(平成30年度実績)

	日常生活向上教室					生活技能訓練教室				
	回数	実人員		延人員		回数	実人員		延人員	
		男	女	男	女		男	女	男	女
北	12	9	4	43	7					
都島	12	6	7	30	36	12	6	8	35	47
福島	12	3	2	32	2	12	8	4	73	22
此花	12	3	2	34	15					
中央	12	0	3	0	9	12	0	3	0	18
西	12	3	1	25	12					
港	12	4	8	40	54					
大正	12	5	2	54	5					
天王寺	12	2	2	25	6	12	6	4	69	26
浪速	12	7	7	39	48					
西淀川	11	2	2	21	17					
淀川	11	4	4	27	32	11	4	5	33	54
東淀川	12	6	7	38	61					
東成	12	2	7	24	30					
生野	10	14	3	64	17					
旭	12	20	13	48	39					
城東	12	4	4	32	31					
鶴見	12	2	3	18	34					
阿倍野	12	8	3	61	25					
住之江	12	4	0	29	0					
住吉	10	2	1	15	1	12	3	0	23	0
東住吉	12	3	3	26	20	12	6	4	53	32
平野	12	2	10	19	43					
西成	12	5	1	49	7					
合計	282	120	99	793	551	83	33	28	286	199

## 11 保健福祉センターにおける酒害教室の状況

(平成30年度実績)

	酒 害 教 室		
	回 数 (回)	実人員 (人)	延人員 (人)
北	12	27	82
西	9	28	90
港	10	35	109
大 正	12	78	214
西 淀 川	12	40	136
東 淀 川	11	32	94
生 野	24	77	323
鶴 見	12	37	132
阿 倍 野	11	57	198
東 住 吉	21	63	233
平 野	12	48	162
西 成	23	64	363
合 計	169	586	2136





大阪市こころの健康センター所報  
(平成30年度)

発行 大阪市こころの健康センター  
〒534-0027  
大阪市都島区中野町5丁目15番21号  
都島センタービル3階  
電話 06-6922-8520